

鉄道ネットワーク・ワーキングチーム フォローアップ会議（第2回集中審議）議事概要

1 日 時 平成30年1月23日（火）13時00分～15時10分

2 場 所 かでる2・7 10階 1030会議室

3 出席者

区分	職	氏名
学 識	北海道大学大学院工学研究院准教授	岸 邦宏(座長)
	北海道大学公共政策大学院特任教授	石井 吉春
	北海道大学大学院経済学研究院教授	吉見 宏
J R	北海道旅客鉄道(株)専務取締役総合企画本部長	小山 俊幸
自治体	北海道市長会長（伊達市長）	菊谷 秀吉
	北海道町村会長（白糠町長）	棚野 孝夫
参 与	北海道運輸局次長	大立 康祐（代理）
	日本貨物鉄道(株)取締役兼常務執行役員	玉木 良知
道	北海道副知事	山谷 吉宏
	北海道総合政策部交通企画監	黒田 敏之

4 議事

- (1) 前回の議論の整理
- (2) 鉄道網のあり方について

5 内容

昨年2月の鉄道ワーキングチーム報告における6類型なども踏まえ、単なる経営再生の視点だけではなく、道の地域、観光政策はもとより、国土や北方領土といった国の政策など、幅広い観点から、個々の路線の方向性について議論が行われた。

(出席者の主な意見)

- ・ 単に線区のあるべき論だけを述べるのではなく、地域住民の方々にも受け入れられるよう、今後の展開についても配慮した表現方法も必要でないか。
- ・ J R北海道、J R貨物の双方から意見が出された線路使用料のあり方については、道において、これまでも国に対し、コスト軽減対策を講じるよう支援を要請してきているが、国の支援のもとで対応をお願いしていくべき。

6 今後の対応

- ・ 次回（2月3日）、最終的な議論を行い、2月中旬に開催予定の「総合交通政策検討会議」に報告の上、「北海道交通政策指針（仮称）」に反映させる予定。